

# ウズペクでも 適期に収穫を

## リンゴ栽培指導へ藤崎で動画撮影



収穫適期の見分け方を解説する中田さん（中央）

藤崎町りんごわい化栽培研究会（太田直人会長）と藤崎町、弘前大学は16日、ウズベキスタンに対するリンゴ栽培指導に共同で取り組む「リンゴ栽培の改善と農家への普及プロジェクト」の一環として、研究会員のリンゴ園で「サンふじ」の収穫や選果作業を解説する動画を撮影した。新型コロナウイルスの影響により現地で指導ができなかったことから、農家の栽培技術向上のため、剪定を含む一連の作業をまとめた教材動画を制作する。（稲葉智絵）

### 3 国 体 「丁寧な作業見て」 プロジェクト

プロジェクトは、国際協力機構（JICA）による開発途上国支援の「草の根技術協力事業」の一環で、同国のリンゴ産業の近代化を目指し、2019年11月にスタートした。

20年2月に同国の研修員が来町し、太田会長のリンゴ園などで剪定実習を行ったが、新型コロナウイルスの影響で同年3月以降は同国との行き来が困難になり、摘果や葉取り作業などの技術指導

が中断。JICAが技術を伝える教材動画の制作プロジェクトを立ち上げたことから、剪定から選果まで一連の作業をまとめた動画を制作することになり、今年6月に摘果作業を撮影していた。

今回の撮影は、同研究会の中田真司さん（42）が講師となり、中田さんのリンゴ

園で、サンふじの収穫適期の見分け方や収穫の注意点を解説後、作業の手本を見せたほか、選果のポイントなどを説明した。動画は、9月まで弘大農学生命科学部の博士課程でリンゴ栽培を研究し、現在同国のタシケント農業大学サルカンド分校で講師を務めるポテイロフ・アリシエルさんが翻訳する。プロジェクトに携わる弘大農学生命科学部国際園芸園芸学）は「収穫時期の見分け方などを通して、津軽のリンゴ農家の丁寧な作業を見てもらいたい」と述べ、「栽培が難しいと言われている品種のふじを世界に広めていきたい」と今後を見据えた。

中田さんは「ウズベキスタンでおいしいリンゴが栽培できるように、これからもサポートしていきたい」と話した。

上記の画像は、当該ページに限って”陸奥新報”が利用を許諾したものです。無断転載はできません。